

講義名	基礎技能B（文章理解 ）/基礎技能C（文章理解 ）				授業形態	
担当教員	富岡 敦基		開講期・曜日・時限		後期 水曜日 5時限	
			単位数	2	履修開始年次	1年生
主題と概要						
【目的】 基礎技能Bは、公務員を目指す学生を対象とする「公務員試験対策プログラム」に位置づけられる公務員試験対策科目である。 1年生対象の「基礎技能B（文章理解）」では、公務員採用試験で必要となる「基礎能力」に関し、幅広く「読解」と「演習」を繰り返し、教養科目の核となる「文章理解」を解く能力の底上げを図る。授業内では初回と比較して最終回での理解率ならびに平均点を20%アップすることを目標とする。公務員採用試験合格には、当授業を履修するだけではなく、自学自習が前提であることは言うまでもない。 なお、本授業を履修するには事前ガイダンスへの参加とエントリーシートの提出が求められる（「履修にあたっての注意・助言他」を参照）。 【内容】 「文章理解」を学び、社会人として必要な基礎的な文章読解・文章構成力を身につけてもらう。 また、公務員の職種や試験制度、今後の学習方法についても学ぶ。 試験期間には試験は行わず、成績は授業期間内で全て評価される。毎回出席すること。 小テスト(5問)を第3回、6回、9回、12回、15回に実施する。 【意義】 講師との対話を通じて進められる本授業の意義は、受講生が、本学がディプロマポリシーで掲げる「論理的思考力」「情報収集力」「情報分析力」を着実に身につけることができることにある。 また、公務員という明確の目標に向けて、コツコツと宿題をこなしていくことによって、「ネアカのひのび」へこたれず、の精神を養うことができることに大きな意義があろう。						
到達目標						
・公務員採用試験の一般知識分野を学ぶ上で重要となる「基礎的概念」の理解に必修となる「総合力」を養うことができるようになる。 ・公務員試験・教養科目の核となる『読解の推理』『判断推理』の基礎を固めることができる。 ・毎週の宿題と講師のアドバイスを通じて、自学自習の習慣を身につけることができるようになる。 なお、以上の目標に到達するため、本授業は講師と受講生のコミュニケーションを重視する						
提出課題						
・毎授業時に練習問題を出す。 ・公務員試験勉強には日ごろの自習が求められる。宿題を通じて、自分のベースに合わせた学習習慣を身につけてもらいたい。						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
練習問題は授業中に講師・解説を行う。 第3回、6回、9回、12回、15回に実施する小テストに関しては各個人の点数、クラスの平均点をFシートで返却する。						
評価の基準						
小テスト（5回×5問＝25問）〔50%〕と受講態度（課題の提出〔15回〕等）〔50%〕の割合で評価する。						
履修にあたっての注意・助言他						
本授業を履修するには、ガイダンスへの参加とエントリーシートの提出が必要です。 【ガイダンス】 1年前期（5～6月）に目的、内容を紹介する説明会を実施するので、履修希望者は必ず参加して下さい。 【エントリーシートの事前提出】 公務員対策は授業中から1年間の取り組みとなり、強い意志が必要となります。そこで履修希望者は、エントリーシートを提出して頂き、それが審査されて履修の可否が決定されます。エントリーシートの詳細はガイダンスで説明します。なお、本授業は50人を定員としています。 【履修に際して】 必ず4限の数理的推理 と5限の文章理解 をセットで履修をしてください。 【授業に際しての注意】 試験期間に試験は行わず、成績は授業期間内で全て評価される。毎回出席すること。 受講態度が悪い場合には、減点する。 また、最初の授業時に学習する科目のテストを行い、その時点でどれくらい問題が解けるかや苦手範囲を確認し、15回の授業を通して解けるようになる。						
教科書						
公務員試験 [高卒程度・社会人]初級スーパー過去問ゼミ 文章理解・資料解釈.		資格試験研究会 編		実務教育出版	1650	978478897267
参考図書						
.なし.						

その他	
必要に応じて資料を適宜配布する。	
授業計画	
1. 公務員ガイダンス・現代文：要旨把握 ・ 予習内容（120分） ○ 現代文の「要旨把握」の基本的な手法を学ぶ。 ○ 要旨を理解するために、段落ごとの要旨を押さえる方法を練習。 ○ 実際の問題を使って、要旨把握の練習を行う（要約を作成し、文章の主旨を把握）。 ・ 復習内容（120分） ○ 要旨を正確に理解するために、文章の構造やテーマに注目する。 ○ 要旨に基づいた問題を解き、答え合わせを行う。 2. 現代文：要旨把握 ・ 予習内容（120分） ○ より難易度が高い文章を使って、要旨把握を実践的に練習。 ○ 文章の構成や論点を明確にし、要旨を絞り込む訓練。 ○ 問題集や過去問を使用し、要旨把握の力を強化。 ・ 復習内容（120分） ○ 難易度が高い文章の要旨を正確に把握する練習。 ○ 要旨を取りながら、文章内の論理的なつながりを確認する。 ○ 他の文章で実践し、答え合わせをして復習。 3. 現代文：内容把握 ・ 予習内容（120分） ○ 「内容把握」の基本を学ぶ。文章の各段落の内容を正確に理解し、設問に答える方法。 ○ 内容把握を行う際のポイントを押さえ、練習問題を解く。 ・ 復習内容（120分） ○ 様々な文章を読んで内容を把握し、設問に答える練習。 ○ 答えが正しいかどうかを確認し、間違えた部分を繰り返し理解する。 ○ 文章の理解を深めるために、他の例文を用いて復習。 4. 現代文：内容把握 ・ 予習内容（120分） ○ より難易度が高い文章を読み、内容把握を強化。 ○ 内容把握の際のポイント（具体例・抽象的な内容の理解）を意識して練習。 ○ 文章の全体像を把握し、必要な情報を整理する練習。 ・ 復習内容（120分） ○ 高度な内容把握問題に挑戦し、答えを選択する際の理由をしっかりと確認。 ○ 他の文章を使い、内容把握の精度を高める。 ○ 正解に至るまでの思考過程を整理して復習。 5. 現代文：空欄補充 ・ 予習内容（120分） ○ 空欄補充問題の解き方を学ぶ。文脈から適切な語句を選ぶ方法を理解。 ○ 文章の流れを意識し、空欄に入る語句を推測する練習。 ・ 復習内容（120分） ○ 初歩的な空欄補充問題を解き、語句の選び方を見る。 ○ 空欄補充問題を繰り返し解き、文脈の読み取りを強化。 ○ 正解の語句を選ぶ際の判断基準を整理し、復習。 ○ 解答した問題を再度解き、間違えた部分を確認する。 6. 現代文：空欄補充 ・ 予習内容（120分） ○ より難易度が高い空欄補充問題に挑戦。 ○ 文章内での語句の使い方や文脈を深く理解する方法を学ぶ。 ○ 文章構造や文脈を意識して、空欄に最適な語句を選ぶ練習。 ・ 復習内容（120分） ○ 難しい空欄補充問題を解き、正解に至る理由を考える。 ○ 言葉の意味や使い方を復習し、空欄補充に役立てる。 ○ 他の問題を解いて、さらに理解を深める。	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
本授業の目標は、本学のディプロマポリシー（5項目）と以下の点で関連する。 ・ 「文章理解」の中でも特に現代文・英文・古文の基礎を固めることができるようになる。 ・ 「知識を正確に転送することができる。論理的思考力を持った人材」の育成。 ・ 毎週の宿題と講師のアドバイスを通じて、自学自習の習慣を身につけることができるようになる。 ・ 「自主・自立の精神を持った人材」の育成	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
理解度確認表・キャンパスクロスを活用し、不明点や確認事項を学生と講師間で共有する。	
実務経験の有無及び活用	
備考	